

お 願 い

- 「音読」「書き取り」「問題練習」指導で「定着」の徹底を -

開倫塾

塾長 林 明夫

1. はじめに

(1) 授業などで、一度「うんなるほど」と十分「理解」した内容の「定着」を徹底することが、定期試験での100点満点確保と模擬試験での偏差値60突破を確実にし、学校成績向上と希望校合格を現実のものにします。

(2) では、どのように「定着」を徹底させるか。私は、一度「うんなるほど」と十分「理解」した内容について、塾生自身が「音読」「書き取り」「問題練習」を自分の力で何十回も何百回も繰り返し、繰り返し行うことが、学力を「定着」させ確実に自分のものにするために効果的であると確信するものであります。

(3) そこで、開倫塾の先生方おかれましては、是非一人ひとりの塾生に授業などで、一度「うんなるほど」と十分「理解」した内容について、「音読」「書き取り」「問題練習」を学力が「定着」するまで繰り返し、繰り返し行う「能力」を身につけるための指導をして頂きたいと希望いたします。

「音読」はどのように行うか、「書き取り」はどのように行うか、「問題練習」はどのように行うかを10月から3月までの半年間、全てのクラスで授業中に時間を取り、具体的に教えて頂きたいと希望いたします。

なぜなら、塾生の多くは、「どのように勉強してよいかわからない」と勉強方法についての悩みをもつからであります。「定着」のための具体的な作業として、「音読」「書き取り」「問題練習」の具体的なやり方を、先生方の担当する一人ひとりの塾生が完全に身につけられるまで、親切、ていねいに指導して頂くことは、一生涯使用可能な「自己学習能力の育成」の上でも有益と考えるので、どうかよろしくお願い申し上げます。

2. 「音読」

(1) 「英語」学習の基本は、よく意味がわかっている文章を何十回、何百回も繰り返し声に出して読むことです。はじめは先生やCDのあとについて一語ずつゆっくり「音読」。

次に、一つ一つの単語が正確に読めるようになったら、文章中で意味のまとまったところで区切りながら「音読」。どこで区切るかわからない塾生がいたら、「区切る」ところにえんぴつで斜線を入れさせる。音読をするときには、「意味のまとまったところで区切るのだよ」と理解させることも大事な指導です。

一度「うなるほど」と十分に意味・内容を「理解」した文章を何十回も何百回も読むうちに、日本人が最も苦手とする前置詞の位置や、語順などが自然と身につく、口をついて文章がスラスラと出てくるようになります。

- (2)「国語」や「社会」「理科」も「教科書」や「参考書」「資料集」や「ノート」など、一度授業で習い「うなるほど」と十分「理解」した内容は何十回も何百回も繰り返して「音読」するよう授業中に毎回ご指導下さい。その日に学習した内容は、授業中に少なくとも一回は「音読」させて下さい。

実は、「数学」も「教科書」や「ノート」を音読させた方がよいのです。

- (3)実技4教科も、一度「理解」した内容についての「音読」は、ものすごく「教育効果」があります。ありとあらゆる教科書の「よくわかった内容」についての「音読」の教育成果を、開倫塾の塾生に「実感」させ、「音読」を「自己学習能力」の一つとして「育成」してあげて下さい。

3.「書き取り」

- (1)「音読」が十分に行われた内容について、次にすべき「定着のための作業」は「書き取り」です。数学はきれいなアラビア数字で、英語はきれいな筆記体かきれいなブロック体で、漢字は楷書で、平仮名、片仮名は、教科書に書かれているようなきれいな書体で書くように指導して下さい。「書き取り」練習は、知識を更に「定着」させるために不可欠です。

「英語」「国語」「社会」「理科」に加え「数学」も「実技4科」も、音読」が十分に行われた内容の「書き取り」練習で、定期テストは100点、模擬試験は偏差値60突破を可能にします。大学入試や各種国家試験においても「書き取り」は欠かせません。

10月から来年3月までの半年間は授業時間中に「書き取り」の練習時間を少しでも多く設けて、確実に書けるようになるまで「書き取り練習はこのようにやるのだよ」と一人ひとりの塾生に指導してあげて下さい。一度授業等で、「うなるほど」と理解した内容について、自分一人で「書き取り」練習のできる能力を、開倫塾の塾生である間に身につけるよう、親切に指導して下さいますようお願い申し上げます。

4 . 「問題練習」

(1) 「数学」や「理科」(「社会」にもあります)などで、計算問題やその応用問題が教科書に載っている場合には、「問題練習」をする必要があります。

例えば、 $a + 2a = 3a$ はどのような意味か、授業などで「うんなるほど」と十分「理解」できたら、 $a + 2a$ という問題を見た瞬間に、 $3a$ という答えが条件反射で出るようにするのが「問題練習」です。

(2) その日の授業で学習し十分「理解」した問題を活用して、条件反射で解答が出るまで問題練習を繰り返し行うことを、授業中に指導して下さい。

ノートに問題を書き写したうえで、同じ問題は少なくとも6回は解くことの大切さも実感させてあげて下さい。

(3) 「問題練習」をしていてよくできない問題は、もう一度「ノート」や「教科書」「参考書」等をよく勉強しなおすよう指導することも「自己学習能力を育成」する上で大切かと思えます。

(4) それでもわからない問題のみ、先生に質問するという「学習の手順」「学習の常識」も指導してあげて下さい。わからない時でもすぐに先生に質問しないで、まずは自分で考えてみる。自分で考えてわからないところは先生に質問する。これも大切な「自己学習能力」の一つです。

(5) 「問題練習」は簡単な問題からスタートし、少しずつレベルを上げていくことも、是非塾生に身につけさせてあげて下さい。

5 . おわりに

今後、開倫塾では、「音読」「書き取り」「問題練習」を合い言葉に一丸となって、「定着のための作業」の徹底を図っていこうと考えます。塾生の「自己学習能力育成」のためにがんばって参りましょう。

以上